

第99回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2021年9月22日（水）13:00～18:40
2. 場 所：機械学会 WebEX システムによるオンライン会議
3. 出席者：委員27名（委員代理含む）、敬称略

【委員】

加口委員長(三菱重工)、高橋副委員長(理科大)、鈴木幹事(中部電力)、波木井(東電)、渡部(HSB ジャパン)、木村(NIMS)、堂崎(原安進)、中澤(火原協)、酒井(横国大)、藤木(東芝 ESS)、伊阪(関電)、都筑(電気協会)、町田(TEPSYS)、浅山(JAEA)、大谷(MFBR)、平野(日立 GE)、小山(日本製鋼所 M&E)、渋鋤(IHI)、楠(日本原電)、爾見(発電技検)、中村(川崎重工)、川畑(東大)、笠原(東大)、藤田(三菱パワー)、松永(東芝 ESS)、西井(電源開発)

【委員代理】

戸張(QST)：橋爪委員(東北大) 代理

【欠 席】

なし

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

佐々木、椎名(以上 原子力規制庁)

【オブザーバ】

飯田(東電)、永田(日立 GE)、朝田(三菱重工)、野村(CS エンジニアリング)、森下(JAEA)、高屋(JAEA)、小口(三菱重工)、安藤(日立 GE)、北条(三菱重工)、中村(元大阪大)、菊地(日本原電)、白井(電中研)、清水(日立 GE)、安田(関電)

【事務局】

花井、松岡、渡邊

4. 配布資料

- 99-0：第99回 発電用設備規格委員会議事次第案
- 99-1：第98回 発電用設備規格委員会議事録案
- 99-2-1：発電用設備規格委員会名簿案
- 98-2-2：各専門委員会名簿案
- 99-2-3：次期委員長の選任について
- 99-3-1：金属キャスク構造規格改定案 2次書面投票結果に関する協議
- 99-3-2：金属キャスク用アルミ合金バスケット材事例規格書面時ご意見に対する回答案
- 99-3-3-1：配管耐震事例規格改定案 書面投票提案
- 99-3-3-2：金属キャスク用アルミ合金バスケット材事例規格に対する書面投票時ご意見に対する回答案
- 99-3-3-3：規格委意見伺い投票 No. 516 回答案
- 99-3-3-4-0：事例規格案 第98回規格委提示版からの変更点
- 99-3-3-4-1：事例規格 本文
- 99-3-3-4-2：事例規格 添付-1
- 99-3-3-4-3：事例規格 添付-1(解説)
- 99-3-3-4-4：事例規格 添付-2
- 99-3-3-4-5 事例規格 添付-2(解説)
- 99-4：第98回発電用設備規格委員会幹事会議事メモ
- 99-5：投票結果
- 99-6：発電用設備規格に関する質問受付及び回答状況
- 99-7：火力専門委員会報告
- 99-8：原子力専門委員会報告

99-9：材料専門委員会報告
 99-10：核融合専門委員会報告
 99-11-1-1：学協会協議会等状況報告
 99-11-1-2：第63回規格類協議会議事録
 99-11-1-3：第64回規格類協議会議事録
 99-11-1-4：規格類協議会 ATENA ガイド
 99-11-1-5：当面の協議会課題
 99-11-1-6：NUSC HP 原子規格委員会シンポジウム
 99-11-2-0：学協会協議会等状況報告
 99-11-2-1：2021年度学協会規格ピアレビュー計画書
 99-11-2-2：(規格類協議会) 学協会規格に対する事業者計画について
 99-11-2-3：第15回規制要件事業者意見の聴取に係わる会合
 99-11-2-4：当面の協議会課題
 99-11-2-5：規格協議会資料 JSME 電子配信説明
 99-11-2-1：ASME Code Week(2021/7) 概要報告
 99-11-2-2-1：ICONE28 Nuclear CS Workshop 概要
 99-11-2-2-2：JMME Nuclear Codes Standards update 2021 Rb
 99-11-2-2-3：Activities of SOD CB @ICONE28
 99-11-3：LB 提案書 09 原専活動方針_規格委意見対応 メール審議提案
 99-11-4：発電規格の電子配信サービスのご案内
 99-12-1-1：書面投票 No. 509 「火力規格第V章配管の書面投票 No. 477 の意見対応による修正案」投票
 意見対応表
 99-12-1-2：新旧対比表 火力規格 202X 5 章-1
 99-12-2-1：詳細規定 202X 版 II 章 改定提案資料
 99-12-2-2：[投票資料 1] 新旧対比表 (表 II-1-2 ASME Sec. II 材 許容応力表) 改定版
 99-12-2-3：[投票資料 2] 新旧対比表 (表 II-1-3 ASME Code Case 材 許容応力表) 改定版
 99-12-2-4：[投票資料 3] 新旧対比表 (補遺)
 99-12-2-5：[参考資料] 詳細規定第 II 章 守勢提案の書面投票用補足説明資料 (差換)
 99-12-2-6：火力専門委員会書面投票 No. 92 (第 II 章 材料改定案) 書面投票意見と対応案 (最終)
 99-13-0：設計・建設分科会 審議案件
 99-13-1-1-1：DC18-34 設計・建設規格第 I 編 適用年版管理用正誤表リストによる正誤表不具合訂正提
 案
 99-13-1-1-2：添付-A 適用年版管理用正誤表リスト R10 ベース 第 99 回規格委提示用
 99-13-1-1-3：参考資料 正誤表不具合エビデンス
 99-13-1-1-4：添付-B 適用年版管理用正誤表リスト作成内規 R1 原専書面投票 No. 621 コメント反映版
 99-13-1-1-5：添付-C 原子力専門委員会書面投票 No. 621 意見対応表
 99-13-1-2-1：[DC20-80] CSS-3150 溶接接手正誤表修正 規格委書面投票結果
 99-13-1-2-2：[DC20-80] CSS-3150 溶接接手正誤表の修正提案 R2 合本 規格委
 99-13-1-3：DC21-17 SCC 事例規格 (改訂) -1 正誤表 合本 規格委
 99-13-2-0-1：2022Ed 改定提案その 1
 99-13-2-0-2：2022Ed 改定提案その 1 一覧表
 99-13-2-1：DC17-34 ボルト接合部有効断面積 R5
 99-13-2-2：DC21-12 提案書 解説付録告示等との対応表削除提案 R3 合本
 99-13-2-3：2022Ed(その 1)改定提案 原専書面投票 意見対応 合本
 99-14-1：溶接規格 2022 年版改定案 (その 1) 規格委員会書面投票結果
 99-14-1-1：「W20-01 溶接施工法の解説図」規格委員会書面投票 意見回答案
 99-14-1-2：「W15-21 溶接処理後熱条件の追加」規格委員会書面投票 意見回答案
 99-14-1-3：「W20-03 低温 PWHT」規格委員会書面投票 意見回答案

- 99-15-0：資料リスト
- 99-15-1：容器と管の接合部分の機器区分に関する改定
- 99-15-2：規格推奨表記集の評価章添付への反映 R1
- 99-15-3：FRS20-03 補修章の軽微な修正 規格委 LB#511 意見回答
- 99-15-4：FRS20-06 維持規格補修章の正誤表発行規格委 LB#512 意見回答
- 99-16：(材料規格は口頭報告のみで資料欠番)
- 99-17：高温規格分科会審議案件
- 99-17-1：ETDM15-001 高速炉維持規格初版に関する公衆審査版からの修正提案
- 99-17-2：高速炉 LBB ガイドライン初版に関する公衆審査版からの修正提案
- 99-17-3：(ETDS18-001) 組成座屈の信頼性評価に関する意見回答案
- 99-17-4：(ETDS20-005) 規格委書面投票 No. 506-No. 1 意見回答案
- 99-17-5：(ETD-18-007) 316FR 鋼、改良 9Cr-7Mo 鋼クリープ特性式の記載に関する修正
- 99-18：(使用済燃料貯蔵施設規格 欠番)
- 99-19：(配管減肉管理規格 欠番)
- 99-20：弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定改訂案
規格委員会書面投票提案
- 99-21：(疲労評価分科会 欠番)

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数（委員総数の 2/3 以上）を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 99-1】

事務局より概要が説明され、承認された。

(2) 委員人事

(2-1, 2) 規格委員会及び専門委員会委員人事【99-2-1, 99-2-2】

規格委員会及び各専門委員会の委員人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。
内容は以下のとおり。

➤ 規格委員会（新任については 10/5 開催の理事会にて正式に承認される）

[再任] —

[新任] 伊阪委員（関西電力）、三浦委員（電中研）

[退任] 日下委員（関西電力）

➤ 火力専門委員会

[再任] 藤田委員長（三菱パワー）、三好副委員長（川崎重工）、飯田英男幹事（東京電力）、佐藤（発電
技検、澤野（電気協会）、飯田、浩道委員（電源開発）

[新任] 山本委員（関西電力）

[退任] —

➤ 原子力専門委員会

[新任] 小牧委員（日本製鋼所 M&E）、小林 (EPRI)

[再任] 今井委員（東京電力）

[退任] 丸岡委員（日本製鋼所 M&E）

➤ 材料専門委員会

[再任] 俣野委員（川崎重工）

[退任] 安田委員（原安進）

[新任] 小牧委員（日本製鋼所 M&E）

➤ 核融合専門委員会

[再任] 橋爪委員長（東北大）、中平副委員長（QST）、稲垣委員（東芝 ESS）、山田委員（金属技研）
[新任] 折田委員（三菱重工）
[退任] －

(2-3) 次期委員長の選任

加口委員長の任期（2 期目）が 2022 年 1 月末で満期を迎えることを受け、事務局より次期委員長選任のスキジュール案が提案され、承認された。なお、委員長の再任回数見直し（合計 2 期⇒3 期）を含む規格委員会運営規約改定案が 10/5 の理事会にて審議される予定であるため、同審議結果を待って委員長候補の推薦手続きに入る。

(3) 優先的に審議すべき事案またはトピックス（今回より新たに設定）

(3-1) 金属キャスク構造規格改定案 2 次書面投票結果に関する審議【資料 99-3-1】

鈴木幹事より、可決要件を満たしていない金属キャスク構造規格改定案(FCD 材/GLF 材)に関する 2 次書面投票(規格委 No. 498)への対応方針案の説明が行われ、協議が行われた。内容は以下のとおり。

- 書面投票 No.498(FCD 材/GLF 材)の結果は、賛成 13(両議案共通)、反対 4～5、保留 7～6 で可決要件（投票数の 2/3 以上）を満足していないため、対応方針を協議した。
- 反対・保留意見者は、規制庁報告(2016/1 実施)において再発防止策として説明された「新材料規格の策定に際しては材料専門委員会による審議・可決を必須条件とする」との方針が守られていない点を問題としている。6/25 に規制庁との面談を行った結果、「事例規格の廃止、再発防止対策とも JSME からの自主的な報告であり、報告頂ければ見直すことは差し支えない」との見解を得た。
- 規制庁面談結果を踏まえ、全会提示された案 1 の延長として、再度 2 次投票を行う提案説明が行われ、協議に入った。
 - ・案 1：(前回) 意見対応を継続する。⇒ (今回) 改めて 2 次投票を行う。
 - ・案 2：材料専門委員会に対し、今回の規格改定案への審議を求める。
- 再度の 2 次投票に進むには次期尚早との意見が出され賛否両論の議論が行われた。この結果、今回の規格委改定案について材料専門委員会で審議を行う（案 2）ことが判断された。

主な議論は以下のとおり。

- 「2 次投票を改めて行う前提条件として、再発防止プロセスが明確になっていることが必要」
- 「前回の規格委投票では、審査プロセスの視点から保留・反対意見が出されたが、次の投票は規格委員会として材料専門委員会の技術的判断を上書きするものへと質的に変化する。技術的判断に必要な知見について、引継ぎや議論が行われるまで再投票には入るべきではない。」⇒「必要な技術的議論は原子力専門委員会、規格委員会でも審議され、既にや提案資料にも織り込み済みと考える。」
- 「レビューの論点として、材料面と設計面の仕分けが明確になれば、改めて材料専門委員会に見解を求める意味はあると考える。」

(3-2) 金属キャスクバスケット用アルミ合金事例規格案に関する審議【資料 99-3-2】

金属キャスク用アルミバスケット材料検討タスク（フェーズ 2）波木井主査及び渋鎌タスク員より、事例規格案に関する説明があり、審議が行われた。内容は以下のとおり。

- 原子力専門委員会の承認を求めた書面投票 No. 598 では、反対意見として、提案の根拠となっている試験データが未開示であることが指摘されていた。その対応として、著作権者との了解を得てデータ開示を行い、原専投票 No. 619 による意見伺いの形で、情報共有と意見交換を進めている。
- 意見伺いを踏まえた事例規格修正案を対象に、原専での 2 次投票を行うことが承認されている。同投票の可決を条件に、規格委員会での書面投票実施が提案された。
- 審議の結果、原子力専門委員会での可決を条件に規格委員会での書面投票を行うことが承認された。

(3-3) 配管耐震評価に関する事例規格に関する審議【資料 99-20】

(説明者：森下タスク主査)

- NC-CC-008 弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定に関し、以下の項目の改定案について、規格委員会の書面投票を行うことが承認された。
 - ① SEGP-3000 一次応力評価の改訂
 - ② 疲労評価（サイクルカウント法）の改訂
 - ③ Mandatory Appendix SEGP-2 溶接部の耐震設計
 - ④ その他 軽微な修正など
 - ⑤ 書面投票 No.625 以降の軽微な修正など

(4) 発電用設備規格に関する審議

(4-1) 発電用火力設備規格に関する審議：【資料 99-12】

藤田火力専門委員会委員長及び飯田幹事より、発電用火力設備規格の改訂に関する提案説明があり、審議が行われた。内容は以下のとおり。

- 詳細規定第 V 章「配管」改訂案：規格委書面投票 No. 509 における保留 1 名を含む 3 名の意見に対する対応案及びこれに伴う編集上の修正が説明され、全会一致で承認された。
- 詳細規定第 II 章「材料」改定案：SA-234 WP91 など 5 鋼種の許容引張応力の見直し、CC2839-1 など 2 鋼種の追加などの新規改訂が提案され審議の結果、書面投票の実施が全会一致で承認された。

(4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議

原子力専門委員会松永委員長から概要を説明後、各分科会代表から個別に議案の説明及び審議が行われた。各規格の審議結果は以下のとおり。

(4-2-1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格：【資料 99-13】

(説明者：設計・建設分科会 朝田主査、永田委員)

- 正誤表適用年版リストによる修正管理の提案：正誤表適用年版リストに備考欄を追加し、正誤表自体の不具合や修正の管理に利用する提案である。実施中の原子力専門委員会での書面投票の可決を条件に規格委員会での書面投票を行うことが承認された。
- 2022 年版改定提案その 1：以下の 2 項目について、原子力専門委員会での書面投票の可決を条件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。
 - ① 支持構造物ボルトの有効断面積 解説図の修正
 - ② 解説付録「JSME 設計建設規格第 I 編と告示等との対応表」の削除

(4-2-2) 発電用原子力設備規格 溶接規格：【資料 99-14】

(説明者：溶接分科会 小口幹事)

- 2022 年版改定提案その 1：規格委書面投票 No. 515 において可決要件を満たしたが、以下のとおり意見が出されており、意見対応案が説明された。
 - ① 溶接施工法の確認項目の解説図の改定：意見 2 名（保留意見 1 名）
 - ② 溶接棒の区分（F-No）の改定：意見なし
 - ③ 溶接後熱処条件の改定：保留意見 1 名
 - ④ 溶接後熱処理条件 下限温度保持が困難な場合の代替規定改定：保留意見 1 名審議の結果、意見対応案及びこれに伴う編集上の修正が全会一致で承認された。

(4-2-3) 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 99-15】

(説明者：維持規格分科会 野村主査)

- 容器と管の接合部の機器区分に関する改定：規格委書面投票 No. 510 における保留 1 名を含む 5 名の意見対応について意見者の了解が得られたことが報告された。また、意見対応に伴う編集上の修正について説明され、全会一致で承認された。

- 評価章添付への推奨表記反映：規格委書面投票 No. 513 における保留 2 名を含む 5 名の意見対応について意見者の了解が得られたことが報告された。また、意見対応に伴う編集上の修正について説明され、全会一致で承認された。
- 補修章の軽微な修正：規格委書面投票 No. 511 における保留 1 名を含む 2 名の意見対応について意見者の了解が得られたことが報告された。また、意見対応に伴う編集上の修正について説明され、全会一致で承認された。
- 補修章の正誤表：規格委書面投票 No. 512 における参考意見 2 名への対応について意見者の了解が得られたことが報告された。また、意見対応に伴う編集上の修正について説明され、全会一致で承認された。

(4-2-4) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：【審議なし】

(4-2-5) 発電用原子力設備規格 設計・建設 第Ⅱ編 高速炉規格に関する審議【資料 99-17】

(説明者：高温規格分科会 高屋主査)

- 高速炉維持規格・LBB 評価ガイドライン：公衆審査が終了した以下の 2 規格について、出版に向けた最終チェックで誤記が見つかったため編集上の修正を行うことが提案された。審議の結果、原子力専門委員会での審議終了を前提にメール審議を行うことが承認された。
 - ① JSME S NA2-2021 高速炉維持規格
 - ② JSME S NX8-2021 ナトリウム冷却型高速炉 破断前漏えい評価ガイドライン
- 高速炉機器信頼性評価ガイドライン改定案：規格委員会書面投票 No. 494 における意見対応案について説明された。審議の結果、原子力専門委員会での審議終了を前提にメール審議を行うことが承認された。
- 高速炉規格 2022 年版改定案：
 - ① 「マルテンサイト系ステンレス鋼の扱いについて（材料規格改定）の高速炉規格への反映」に関する規格委投票 No. 506 での意見対応案について説明された。審議の結果、原子力専門委員会での審議終了を前提にメール審議を行うことが承認された。
 - ② 新規に「316FR 鋼、改良 9Cr-1Mo 鋼クリープ特性式の記載に関する修正」について提案説明が行われた。審議の結果、原子力専門委員会での審議終了を前提に規格委員会の書面投票を行うことが承認された。

(4-2-6) 使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議：【審議なし】

(4-2-7) 配管減肉管理規格【審議なし】

(4-2-8) 環境疲労評価に関する規格の審議【審議なし】

(4-2-9) 発電用原子力設備規格 コンクリート製格納容器規格に関する審議【審議なし】

(5) 発電用設備規格委員会活動状況報告

(5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 99-4】

鈴木幹事より、8/23 に開催された第 88 回規格委員会幹事会の概要について報告された。内容は以下のとおり。

- 学識経験者の委員が委員会に参加しやすくする議事の進め方について協議した。採決を要しない報告事項を後にまわして拘束時間を短縮すること、技術的に新規性の高い事項や優先度の高い審議を一般の規格審議の前に行う等の見直しについて本日の委員会より試行中である。
- 次回幹事会は 11/18 に開催予定

(5-2) 書面投票結果【資料 99-5】

事務局より書面投票の実施状況について資料により報告された。

(5-3) 公衆審査報告【資料 99-6-1】

事務局より、事例規格案の公衆審査終了が以下のとおり報告され、両事例規格の制定が確認された。

- 規格名：発電用原子力設備規格 維持規格
事例規格 NA-CC-015 ニッケル合金溶接継手の亀裂進展評価
- ・意見受付期間：2021/6/28 - 2021/8/27
- ・意見受付結果：意見なし

(5-4) 質問受付回答状況【資料 99-6-2】

事務局より質問受付回答の状況が資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 設計・建設規格 第 I 編 軽水炉規格 2005 年版 5 件、2012 年版 2 件：未回答
- 材料規格 2012 年版 2 件：未回答
- 溶接規格 2012 年版 1 件：未回答
- PWR/BWR 配管減肉規格 2016 年版 2 件：回答済

(5-5) 火力専門委員会報告【資料 99-7】

火力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/9 WEB 会議として開始された第 97 回火力専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 98 回火力専門委員会は 12/10 に WEB 開催の予定。

(5-6) 原子力専門委員会報告【資料 99-8】

原子力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/9 WEB 会議として開始された第 107 回原子力専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 108 回原子力専門委員会は 12/7 に WEB 開催の予定。

(5-7) 材料専門委員会報告【資料 99-9】

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/1 WEB 会議として開始された第 51 回材料専門委員会の結果を中心に報告。
 - 次回 第 52 回材料専門委員会は 12/1 に WEB 開催の予定。
- また、材料規格統合化分科会 山田主査より、以下の報告があり、審議が行われた。
- 推奨引張試験に関する規格員会書面投票 No. 514：可決要件を満たして終了し、参考意見への対応について意見者の了解を得られている。審議の結果、意見対応案を了承し、本議案の可決が承認された。

(5-8) 核融合専門委員会報告【資料 99-10】

核融合専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 9/10 WEB 会議として開始された第 75 回核融合専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 76 回核融合専門委員会は 12/3 または 12/10 に WEB 開催の予定。

(6) 委員会運営に関する報告／審議

(6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 99-11-1】

規格類協議会の活動状況について資料にて報告された。内容は以下のとおり。

- 8/24 に幹事会、9/21 に協議会が開催された。
- ピアレビュー実施計画：日本電気協会「JEAC4214-2020 発電用原子燃料の製造に係る燃料体検査規程」を対象に 10 月に現地レビューの予定。

(6-2-1) ASME Code 委員会に関する報告【資料 99-11-2-1】

原子力専門委員会 松永委員長より、7/26-29 を中心に web 開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委員会の運営に関連が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

- ・ SDO Code Convergence Board (7/26 開催) : 添付-1
- ・ ASME/JSME Joint TG Severe Accident (7/27 開催) : 添付-2
- ・ ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (7/25 開催) : 添付-3
- ・ Seismic Design Steering Committee : 開催なし
- ・ Plant Systems Design Committee : 開催なし

(6-2-2) ICONE28 に関する報告【資料 99-11-2-2】

原子力専門委員会 松永委員長より、8/4~6 に WEB 開催された ICONE28 (28th International Conference on Nuclear Engineering) の概要が報告された。

- ・ 主催者である ASME より、NQA-1 に規定された QA 要求の重要性、BPV Code2023 年版に向けた技術的取り組み状況などについてプレゼンが行われた。資料は未配布である。
- ・ JSME から発電規格の改訂整備状況をプレゼンした。 : 資料 99-11-2-2

(6-3) 原子力専門委員会活動計画の公開について【資料 99-11-3】

原子力専門委員会 松永委員長より、原子力専門委員会の活動計画公開に関する規格委員会書面投票の意見対応に関して報告され、審議が行われた。内容は以下のとおり。

- 規格委書面投票 No. 519 は可決要件を満たしたが、7 名から参考意見が出された。意見対応として編集上の修正についてメール審議が提案された。
- 審議の結果、修正案について 15 日間のメール審議を行うことが承認された。

(6-4) 発電規格の電子配信に関する準備状況【資料 99-11-4】

事務局より、発電規格電子配信の準備状況について報告された。内容は以下のとおり。

- 法人向け閲覧サービスを 6/23 に開始し、8 月末時点で 4 社が契約した。引き続き委員各位の所属先の加入について、協力が要請された。
- 8 月には、在庫がなくなった発行済の規格を重版する代替手段として、個人ユーザー向けに PDF 版のダウンロード販売が開始された。

主な議論は以下のとおり。

- 「規制庁としても閲覧サービスの契約を検討したいので、詳細を教えて欲しい。」 ➡ 「事務局より情報をご連絡する。」

(7) 今後の予定

次回、次々回の発電用設備規格委員会の開催予定は以下のとおり。

- 第 100 回 発電用設備規格委員会 : 2021 年 12 月 23 日 (木) 13 : 00~18 : 00 WEB 会議
- 第 101 回 発電用設備規格委員会 : 2022 年 3 月 23 日 (木) 13 : 00~18 : 00 WEB 会議

以 上